

# 市史の小径

## 私の六地藏巡拝

盆が近づくと、現代人も墓参りをし、先祖の霊を迎えなければならぬという気分になります。もともと盆は旧暦の7月でしたが、明治時代に新暦になってからは東日本では7月に、西日本では8月にする人が多いようです。西日本の暑い盆は終戦の時期とも重なって、慰霊の心呼び覚まします。

盆行事の中心は、先祖の霊を迎えてこれをもてなし、また送るもので、仏教行事とされますが、「オシロイサン」と呼ばれる魂を集落近くの山などで松明を焚いて迎え、その火を各家に移してまつるなど、魂のゆくえに対する古い意識を伝える民俗的色彩の濃いものです。

中でも初盆の家では、特別に祭壇をしつらえ丁寧まつります



▲第一番の寺庄六角堂

が、柚川流域では「柚の六地藏」と呼ばれる6か所の地藏尊を家族や親戚が巡拝する風習が江戸時代から続いています。その由緒によると、六地藏は伝教大師最澄が用材を求めて柚谷に分け入った際、1本の木から彫り出したものと語られていて、第一番の寺庄六角堂から川下に向け順拝するのが普通ですが、六番から巡拝する「逆打ち」もあり、現地では寺方だけでなく、地元の高老や老人会の方が地藏堂を飾り付け、数日の間詰めて、回向の受付や接待を行います。

六地藏信仰と一帯の新亡供養がいつ結びついたかは明らかではありませんが、甲賀市域はもちろんで、伊賀市域を含めた参拝があり、広がりのある珍しい盆行事として注目されます。

【市史第一巻販売所】  
 【水口】TUTAYAさんぽうどう・八ツヤ書店・山川書店・山田書店・水口歴史民俗資料館【土山】ウエノ・新名神土山サービスエリア案内所・土山歴史民俗資料館【甲賀】かぶか生涯学習館・WING甲南店・市史編さん室【信楽】大宝堂谷川書店・信楽中央公民館

問い合わせ  
 歴史文化財課 市史編さん室  
 甲南庁舎3階  
 ☎06-80075  
 ☎06-8216

# 発見! 甲賀の自然

## 第5回 夏の星空

この夏は、7月22日の日食が話題になりました。また、イタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて天体望遠鏡で宇宙を観測してから400年ということで、今年は世界天文年と定められています。これを機会に、夜空を眺めてみることにしましょう。

といっても、8月1日頃は月が明るくて星座は見にくいかもしれません。今月は6日に満月になります。その後は、月はだんだんと細くなり、月の出の時刻も遅くなります。夜8時頃星を見るなら、10日以降がよいでしょう。

星座は、市内でなくても観察することはできます。しかし近年、国内の都市部や一部の町村部で星が見えにくい地域ができています。その原因として、街灯やネオン等の人工的な光が大気中のチリやホコリに当たって散乱し、夜空が明るくなってしまうと考えられます。

市内では、このような「光害」はそれほど深刻では

なく、星をよく見ることができます。これも甲賀市で大切にしたい自然のひとつです。



▲8月10日 20:00頃の南の空(「ステラナビゲーター」を使って作成)

問い合わせ **みなくち子どもの森自然館**  
 ☎ 63-6712 ☎ 63-0466  
 8月の休園日  
**3日(月)、10日(月)、17日(月)、24日(月)**  
 \*31日(月)は臨時開園します

# 甲賀市文化協会 連合会文芸欄

## 草笛句会

- ・ 伽羅路や譲ることのみ多き日々
- ・ 庭師来て初夏の青空引き寄する
- ・ 母の日にすこやかな児ら連れて来し
- ・ 縫い直す母の袖や余花白し
- ・ 初夏や乙女のうなじ風白し
- ・ 利かぬ気のこれも個性や子どもの日
- ・ 野佛の目鼻くずれて露の雨
- ・ 露を煮る明治の母の香りして

## かたつむり俳壇

- ・ 九頭竜の流れの激し立夏なり
- ・ 菖蒲湯や胸に抱きたる手術痕
- ・ 我も又同じ嘆きに余り苗
- ・ 九十九折り切り岸にある風の百合
- ・ 夏立つや乙女の白肌心引く
- ・ 髪型を変へし少女の初夏の恋
- ・ 若竹や雀のお宿このあたり
- ・ 揚げ雲雀話まとまる兆しなし
- ・ 黄菖蒲の影くずしたる鍬の先
- ・ 日の暮れてそこだけ騒ぐ花水木

- 仁木 鈴江
- 西村 幸子
- 久次米 昌子
- 福井 えきの
- 小山 君枝
- 西尾 康子
- 清野 光代
- 森田 うた子

- 村上 しげとし
- 田中 みつを
- 田中 美由紀
- 柄川 由紀子
- 木村 テル
- 松井 まつ
- 吉福 さとし
- 藤田 啓子
- 土田 衣章
- 井上 マスエ



甲南町文化協会

# みんなの窓

## 平和をめぐるお話 ~とある喫茶店にて~

市内、とある喫茶店のカウンター。メロンフラッペをつつきながらマスターと話しているのは、あいちゃんのお話です。

マスター 今日から8月やね。市内でも平和イベントや集会有るらしいよ。昔「戦争を知らない子どもたち」という歌がはやったけど、今や「戦争を知らない子どもたち」を知らない子どもたちが大人になってる。その間ずっと日本は平和でした。ありがたいことです。

あい ふーん。日本って平和なん？そもそも平和って何？  
 マスター 平和は平和でしょうが。あいちゃん中学生でしょ？

すると、隣でコーヒーを飲んでいた学生が会話に入ってきました。

学生 実は僕、平和について研究する『平和学』っていうの勉強しています。戦争のない状態が平和であるとする考え方に対して、人間が自由で安心して秩序ある生活を送ることができ、これを脅かすものが何もない状態が平和であるとするのが平和学の考え方です。戦争が終わっても地雷の危険や治安の乱れが残る地域を平和とは呼べません。

あい それだけじゃなくて、戦争に関係なくても、いじめ・差別・貧困・教育格差とかがあるのも、平和じゃないよね。

学生 そうです。人間の自由が脅かされていることに変わりないからね。こんなふうには「平和」の概念は『平和学』の発展とともに広げられてきたのです。

マスター 人間が、自由で安心して秩序ある生活を送ることができる状態が平和かあ。じゃあ、日本は平和といえるのか？

学生 そそこが問題です。「日本は？」というよりもっと足下の、この町は、会社や学校は、家庭は、平和なのかな？

あい 見た目、けんかがないからとか、誰も不平を言わへんからとかではなくって、とても注意深く見極めないと、本当に平和かそうでないかは分かりにくいかもしれへんね。

マスター ううむ。みんなのために平和を祈りましょう。

学生 平和は祈るものじゃなくて、創るものですよ。自分に何ができるか考え、行動する夏にしましょう。

問い合わせ 人権推進課 ☎ 65-0693 ☎ 63-4582